PASSION FOR THE BEST

個人投資家の皆さまへ

大和証券グループの経営戦略

2018年8月

株式会社大和証券グループ本社 （証券コード：8601）
執行役社長　CEO　中田　誠司

Daiwa Securities Group Inc.

本資料は、2018年度第1四半期までの業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2018年8月14日現在で公表可能な情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

大和証券グループの経営戦略

目 次

1.　大和証券グループの概要・・・・3

2.　中期経営計画の概要・・・・10

3.　社会への貢献・・・・26

4.　株主還元・・・・31

参考資料　・・・・36

1. 大和証券グループの概要

Daiwa Securities Group Inc.

大和証券グループのあゆみ

PASSION FOR THE BEST

1902年の創業以来、**116年の歴史の中で培ったDNA**
＝ **時代の先を行く先進的な取組み**により、資本市場の発展に貢献

創業

・藤本ビルブローカー設立
(※ビルブローカー：手形仲買人の意)

大和證券設立

・大和証券投資信託委託設立
・ニューヨーク進出
・東京都千代田区呉服橋に本店ビルを新築、移転

二部上場

・三市場第二部
・ロンドン進出

一部上場

・大和総研設立

インターネット取引開始

企業理念の設定

持株会社体制移行

・大和証券グループ本社、大和証券、大和証券SBCM*設立
(*後に大和証券SMBC)
・本社を「グラントウキョウノースタワー」に移転

大和スピリットの策定

・大和ネクスト銀行設立

新大和証券設立

創業116年

1902 | 1943 | 1956 | 1959 | 1961 | 1964 | 1970 | 1986 | 1989 | 1996 | 1998 | 1999 | 2007 | 2008 | 2011 | 2012 | 2018

藤本ビルブローカー → **大和證券** → **分社時代** → **“新”大和証券**

■ 1986年　**日本初のパソコンによるホームトレードサービス**を開始

■ 1999年　**日本の上場会社初の持ち株会社**大和証券グループ本社を発足

主要会社構成

PASSION FOR THE BEST

大和証券グループ本社
（持株会社）

リテール部門
- 大和証券

ホールセール部門
- ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ﾏｰｹｯﾂ
  - 大和証券キャピタル・マーケッツ ヨーロッパリミテッド
  - 大和証券キャピタル・マーケッツ 香港リミテッド
  - 大和証券キャピタル・マーケッツ シンガポールリミテッド
  - 大和証券キャピタル・マーケッツ アメリカ Inc.
- ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｲﾝﾍﾞｽﾄﾒﾝﾄ・ﾊﾞﾝｷﾝｸﾞ

アセット・マネジメント部門
- 投信/投資顧問
  - 大和証券 投資信託委託
  - 大和住銀 投信投資顧問
- 不動産ｱｾｯﾄ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
  - 大和ﾘｱﾙ・ｴｽﾃｰﾄ・ｱｾｯﾄ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
  - ﾐｶｻ・ｱｾｯﾄ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
  - 大和証券 ｵﾌｨｽ投資法人

投資部門
- 大和 企業投資
- 大和PI ﾊﾟｰﾄﾅｰｽﾞ
- 大和証券 SMBC ﾌﾟﾘﾝｼﾊﾟﾙ・ｲﾝﾍﾞｽﾄﾒﾝﾂ

シンクタンク/システム 銀行・その他
- シンクタンク/システム
  - 大和総研
  - 大和総研 ﾋﾞｼﾞﾈｽ・ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ
- 銀行
  - 大和ネクスト 銀行
- その他
  - 大和 ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ
  - 大和証券 ﾋﾞｼﾞﾈｽｾﾝﾀｰ

数字で見る大和証券グループ

PASSION FOR THE BEST

国内店舗数
155店舗

預り資産（大和証券）
67.6兆円

従業員数*
16,651人

CFP認定者数
746名

業界No.1**

女性管理職比率
9.4%

グローバル拠点所在地
世界20カ国・地域

就職人気ランキング
（東洋経済オンライン・2019年卒後半）

総合順位 4位

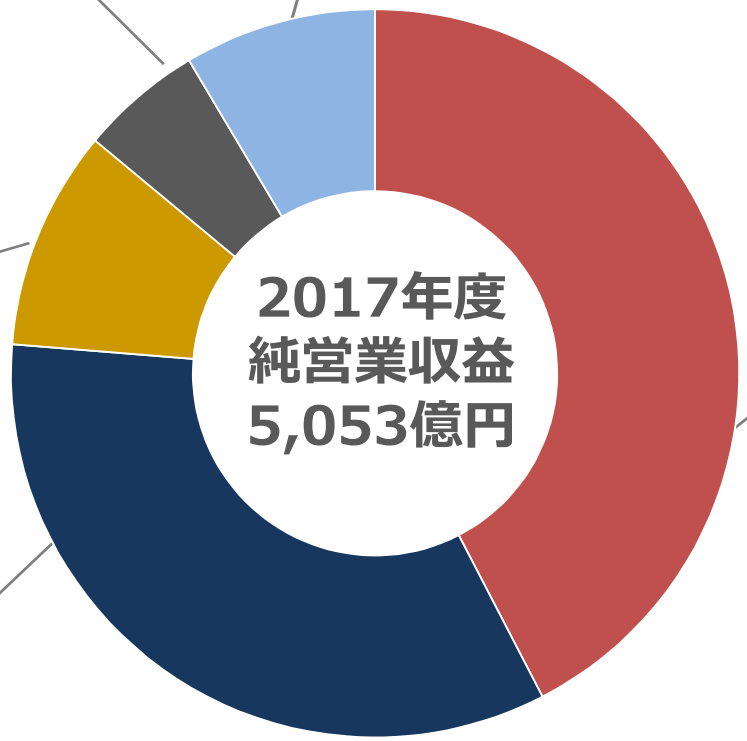
金融業界 1位

時価総額
約1.1兆円

※2018年6月末時点（国内店舗数は2018年8月現在）
*連結グループ会社および大和住銀投信投資顧問等の合計数値

**日本FP協会発表値に基づく（国内保険・金融業界における認定者数）

純営業収益構成比（部門別）



投資部門
274億円（5.4%）

その他・調整等
431億円（8.5%）

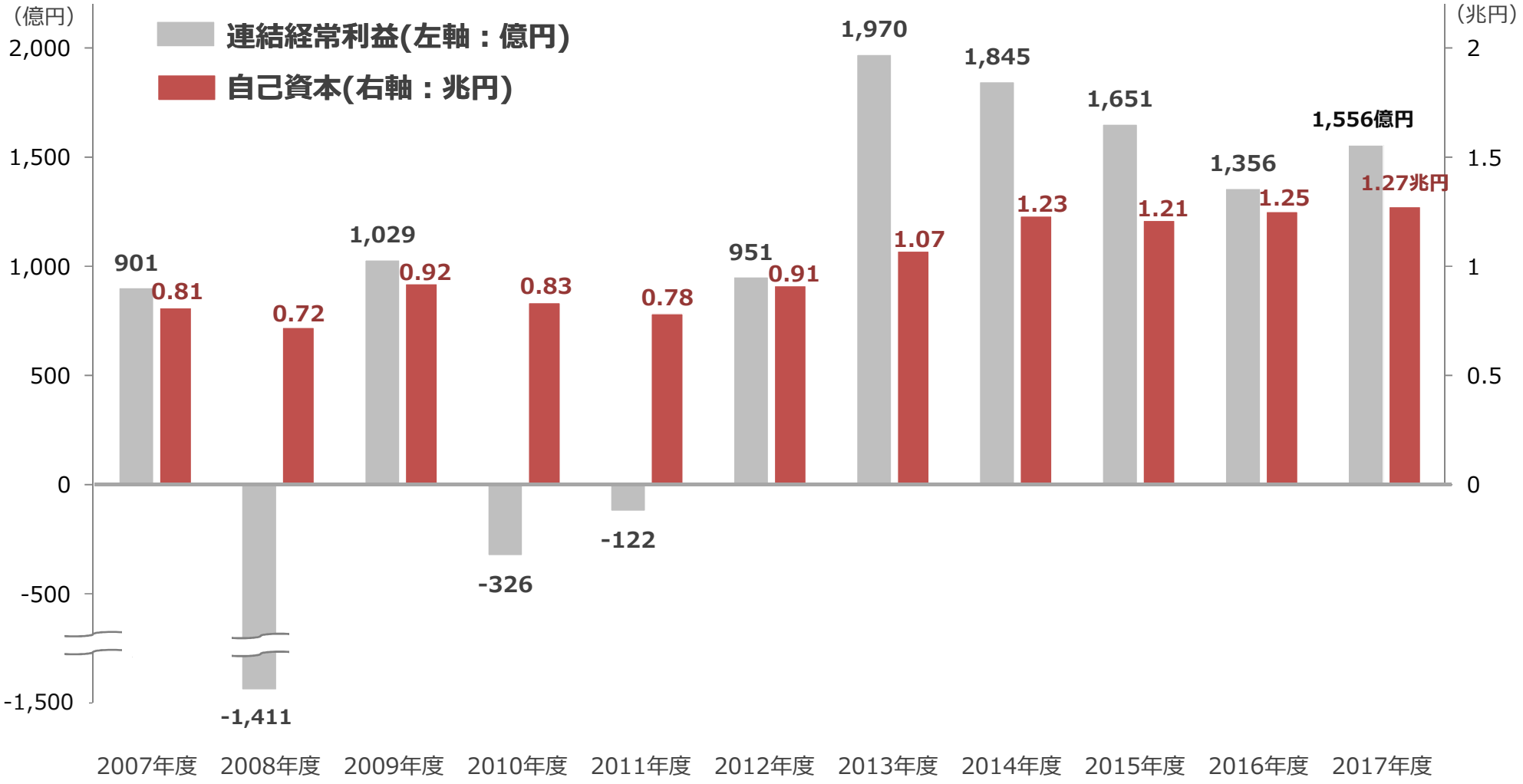
アセット・マネジメント部門
493億円（9.8%）

リテール部門
2,142億円（42.4%）

ホールセール部門
1,711億円（33.9%）

・グローバル・マーケッツ　・・・1,236億円
・グローバル・インベストメント・バンキング　・・・474億円

10年間の業績


（億円）
（兆円）
連結経常利益(左軸：億円)
自己資本(右軸：兆円)
2,000
1,500
1,000
500
0
-500
-1,500
2
1.5
1
0.5
0
901
0.81
-1,411
0.72
1,029
0.92
-326
0.83
-122
0.78
951
0.91
1,970
1.07
1,845
1.23
1,651
1.21
1,356
1.25
1,556億円
1.27兆円
2007年度
2008年度
2009年度
2010年度
2011年度
2012年度
2013年度
2014年度
2015年度
2016年度
2017年度

大和証券グループの現状と課題認識

PASSION FOR THE BEST

内部環境

強み

- 先進的な取組みを行なうDNA
- 豊富な人材
- 独立系証券としての経営の自由度
- 収益基盤の安定性
- 強固な財務基盤（高い自己資本規制比率）

等

課題

- 若年層のお客さま基盤の拡充
- 少子高齢化の進展への対応
- オンライン取引におけるマーケットシェア拡大
- グローバルなビジネス基盤の拡充
- テクノロジーの活用

等

外部環境

機会

- 人生100年時代の到来
- デフレ脱却による「貯蓄から投資」の本格的な進展
- AI、FinTech等、テクノロジーの進展
- 働き方改革（業務効率化・生産性向上）
- グローバル経済の緩やかな成長

等

脅威

- 人口減少による国内市場の縮小
- デフレの継続
- 異業種からの証券ビジネスへの参入
- 地政学リスクの高まり

等

2. 中期経営計画の概要

Daiwa Securities Group Inc.

大和証券グループの目指す姿

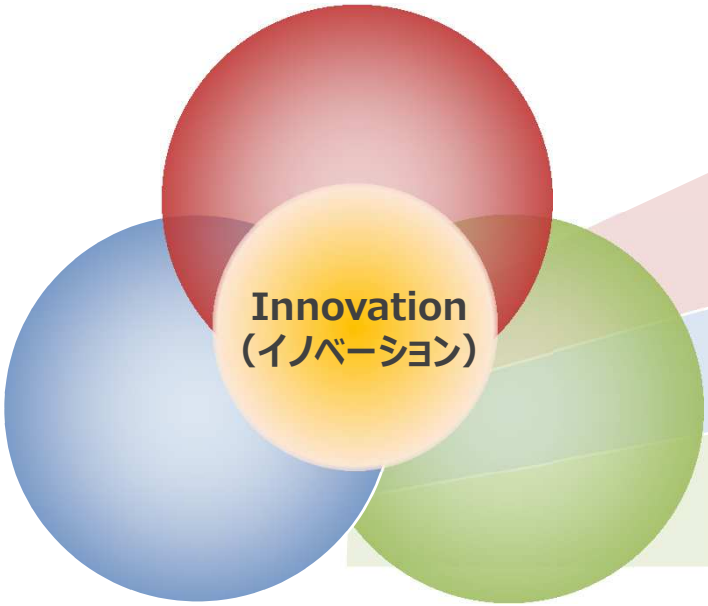
PASSION FOR THE BEST

中期経営計画（2018年度～2020年度） “Passion for the Best” 2020

未来を創る、金融・資本市場のパイオニア

1 クオリティNo.1のコンサルティング力による「付加価値」の高いソリューションの提供

2 ハイブリッド型総合証券グループとして「新たな価値」の提供



＜求められる要素　～3つのP～＞

- 大和証券グループの Passion（情熱）
- 大和証券グループの Professionalism（高い専門性）
- 日本を含むアジアの Potential（潜在力）

中期経営計画の数値目標

PASSION FOR THE BEST

お客様本位

お客様満足度	・NPS® (Net Promoter Score®) 等
大和証券預り資産	・80兆円以上

財務

連結総自己資本規制比率	・18%以上

業績

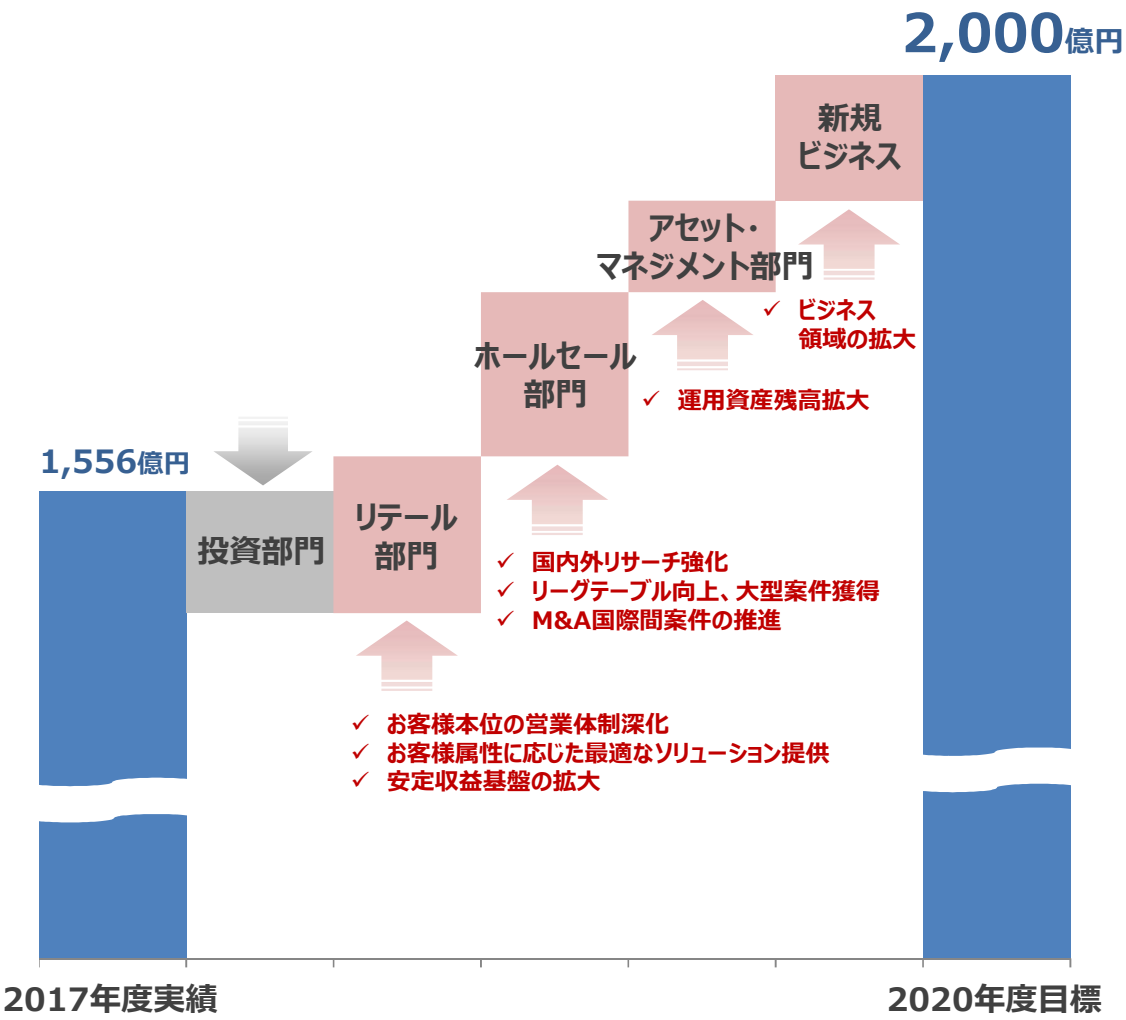
ROE	・10%以上
経常利益	・2,000億円以上

注： NPS®はNet Promoter Scoreの略であり、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、及びサトメトリックス・システムズの登録商標です

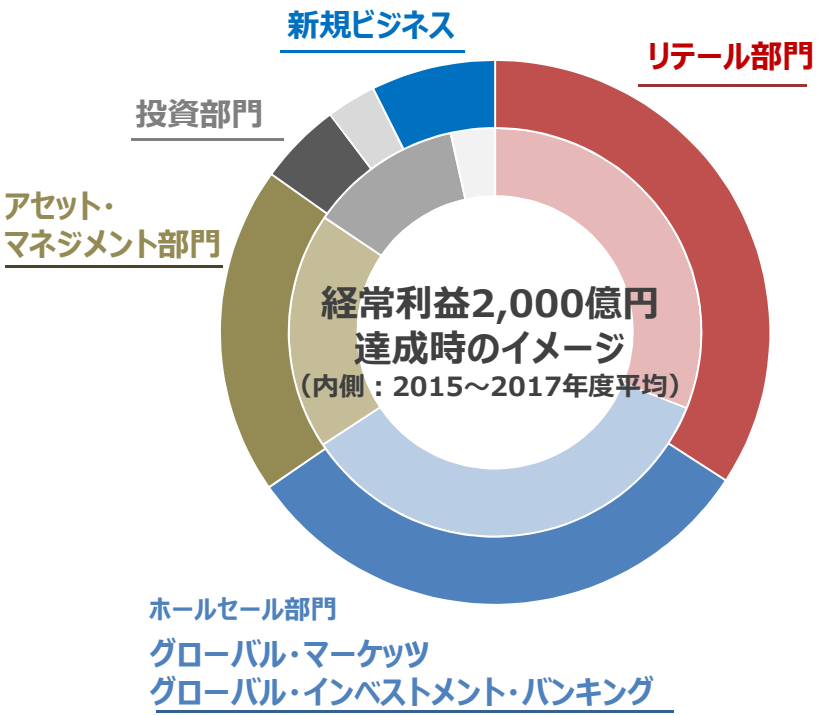
経常利益：2,000億円達成に向けた部門別増加イメージ

PASSION FOR THE BEST

経常利益 部門別増加要因イメージ



経常利益 部門別構成比イメージ



2. 中期経営計画の概要

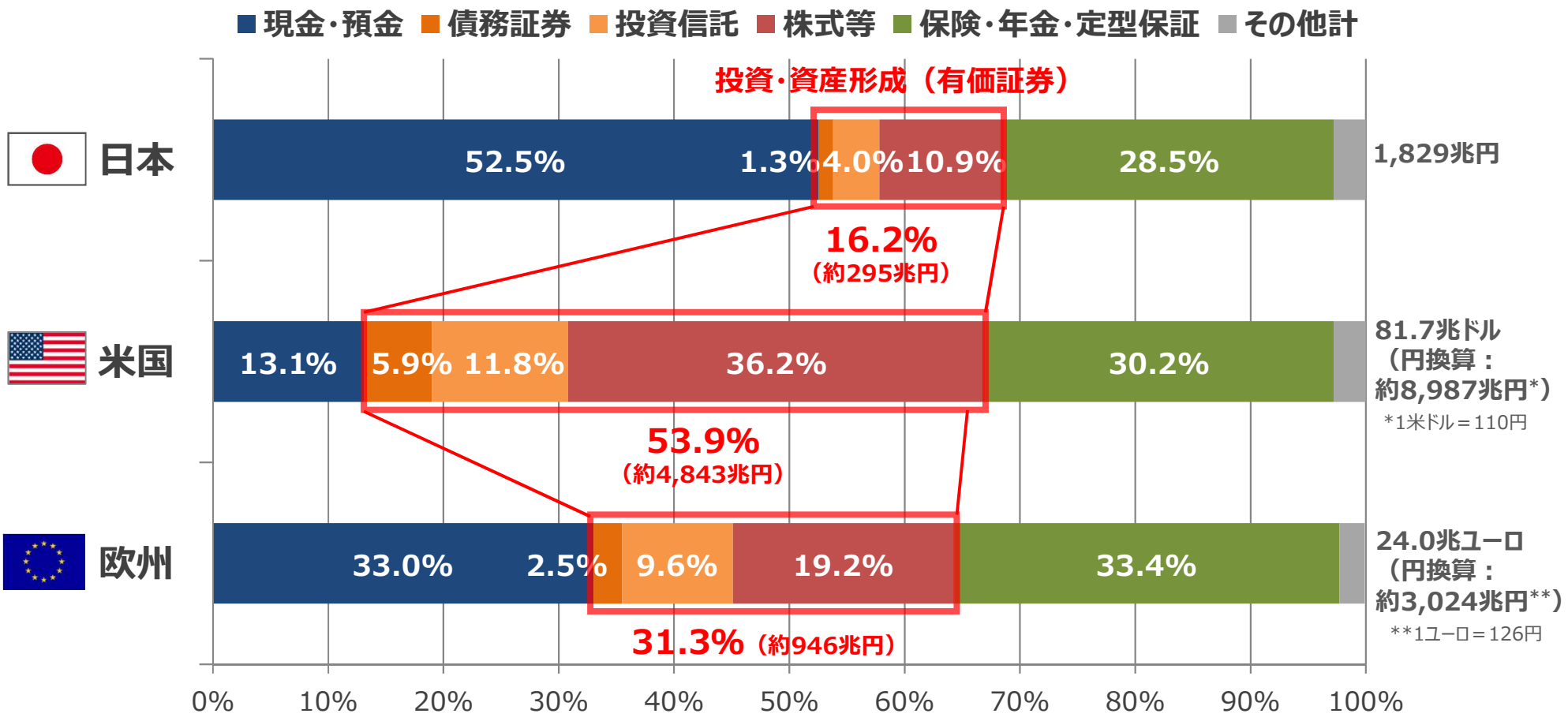
①クオリティNo.1の「付加価値」

Daiwa Securities Group Inc.

家計の金融資産の状況（日・米・欧）

PASSION FOR THE BEST

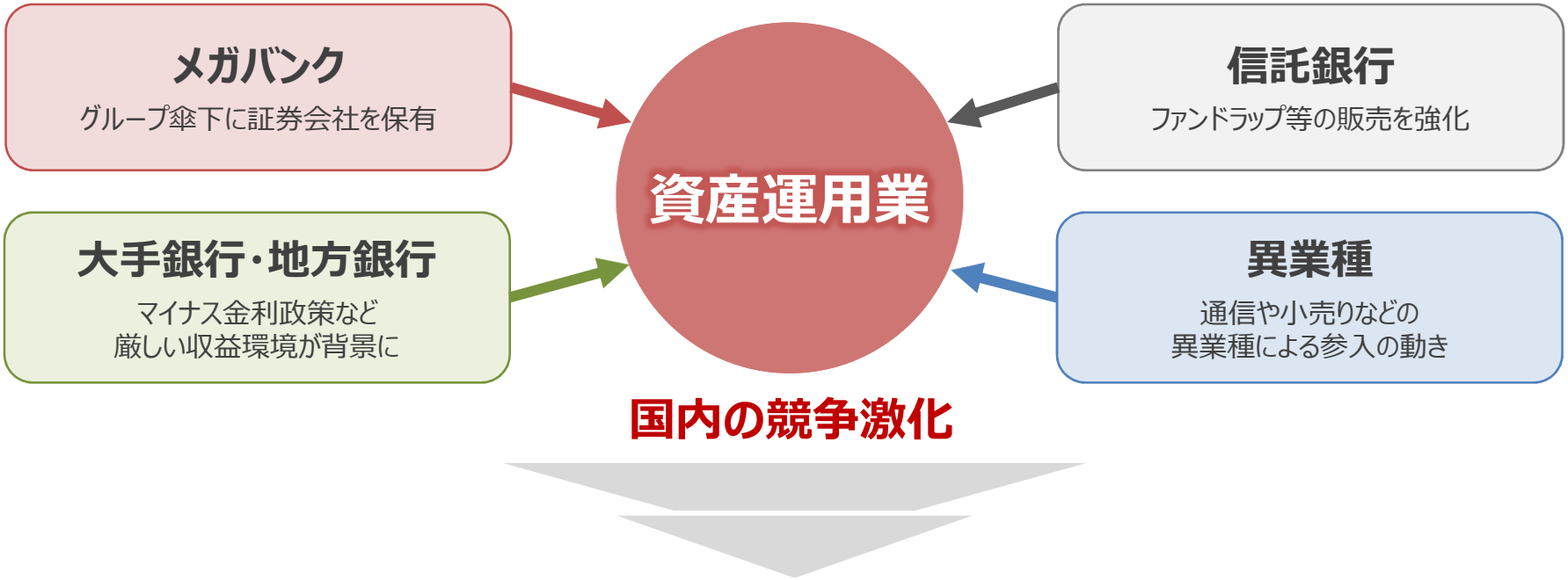
- 家計の金融資産において、日本は投資（有価証券）より貯蓄（現金・預金）に偏る
- 「貯蓄から投資」が実現した際、資金の受け皿となる当社にとっては大きなビジネスチャンス



（出所）日本銀行（2018年3月末時点）
※「その他計」は、金融資産合計から、「現金・預金」、「債務証券」、「投資信託」、「株式等」、「保険・年金・定型保証」を控除した残差

国内の競争環境への対応

- 既存の金融機関だけでなく、通信や小売りなど異業種による証券業への参入の動き
- お客さまに最も選んでいただく証券会社となるために、「クオリティNo.1」の実現を目指す



お客さまに最も選ばれるベストパートナーとなるため、

業界における“クオリティNo.1”の実現を目指す

クオリティNo.1に向けた取り組み例

PASSION FOR THE BEST

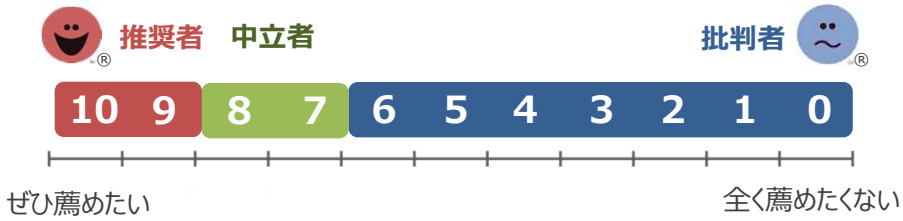
- お客さまから当社への評価として満足度（NPS®）を活用し、継続的な向上を目指す
- お客さまの多様化するニーズを捉えるべく、機動的な営業所を効率的に拡大

お客さま満足度の向上

お客さま満足度を「見える化」し、社内で共有、継続的な向上を図る

大和版NPS®の導入

Q.ご家族やご友人から、「どの証券会社に口座を開設したら良いか」を相談された場合、大和証券をご家族やご友人に薦める可能性はどのくらいありますか？

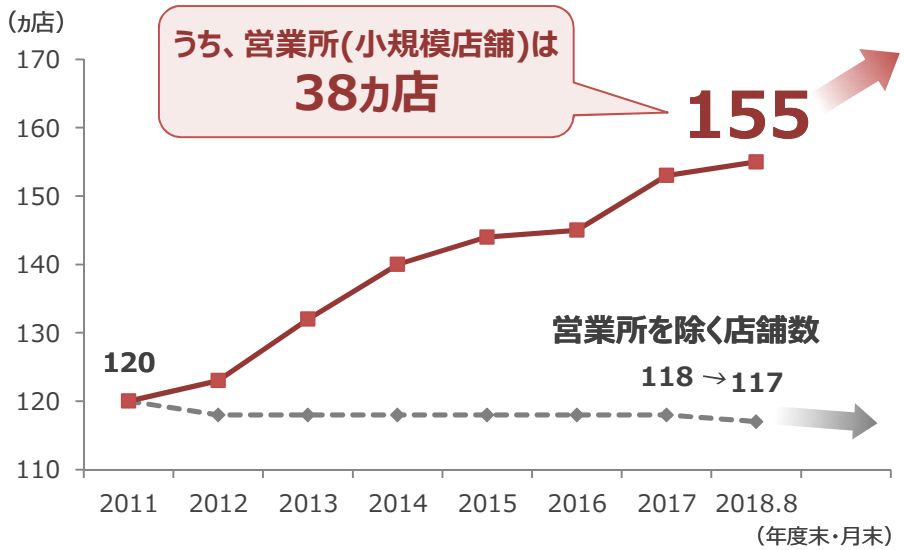


推奨者の割合（%） − 批判者の割合（%） ＝ NPS®

お客さまとの接点拡大

低コスト・小規模な営業所をさらに拡大し、お客さまとの接点拡充を図る

大和証券店舗数の推移



2. 中期経営計画の概要

②ハイブリッド型総合証券グループとしての「新たな価値」

Daiwa Securities Group Inc.

伝統的ビジネスと新たな事業の有機的な連携

PASSION FOR THE BEST

■ 「ハイブリッド型総合証券グループ」とは？
⇒伝統的な証券ビジネス×当社グループ内外の関連事業・新規事業への参入や活用

「ハイブリッド型総合証券グループ」イメージ図

インターネット銀行（大和ネクスト銀行）の展開

大和ネクスト銀行預金残高（2018年6月末）

⇒ **3.6兆円**

不動産投資信託（REIT）の運用

REIT運用資産規模合計（2018年6月末）

⇒ **8,979億円**

運用会社	投資法人名	投資対象	区分
大和リアル・エステート・アセット・マネジメント	大和証券オフィス投資法人	オフィス	上場
	日本ヘルスケア投資法人	ヘルスケア	上場
	大和証券レジデンシャル・プライベート投資法人	住宅	非上場
	大和証券ホテル・プライベート投資法人	ホテル	非上場
ミカサ・アセット・マネジメント	日本賃貸住宅投資法人	住宅	上場
サムティアセットマネジメント*	サムティ・レジデンシャル投資法人	住宅	上場

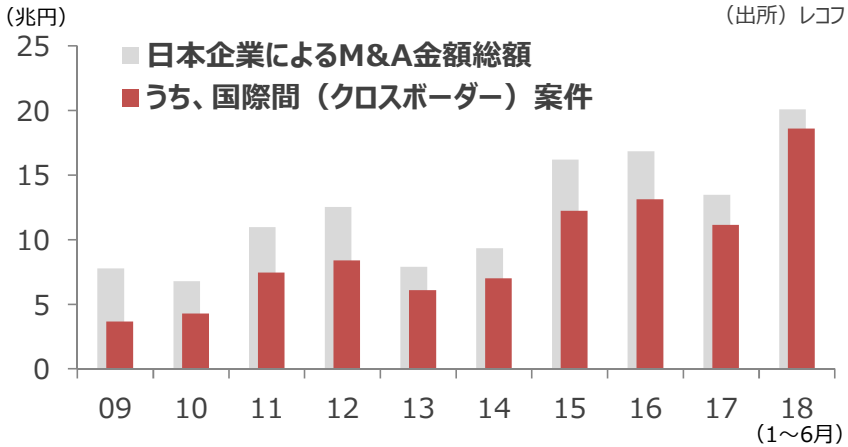
* サブスポンサー

グローバルM&Aネットワークの強化

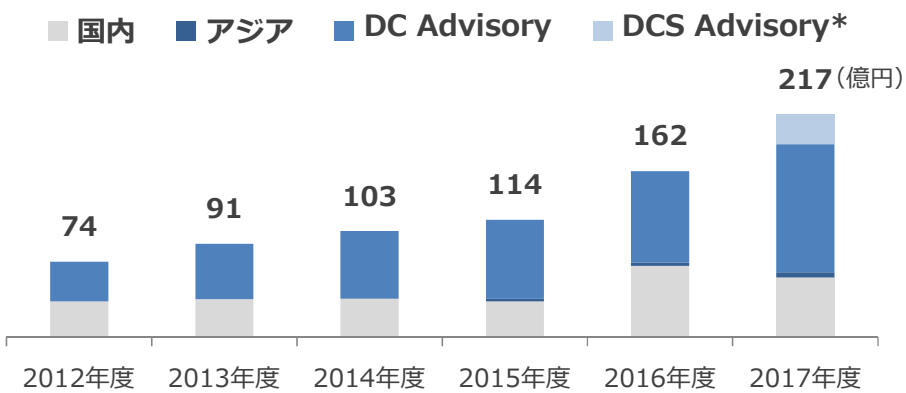
PASSION FOR THE BEST

- 日本企業の内部留保や手元資金活用のためのM&Aニーズ増加に伴い、市場は拡大
- 中・小型案件獲得にフォーカスしたM&Aグローバルネットワークの強化を図る

M&A市場規模の拡大



当社グループ M&A関連手数料の推移



M&Aグローバルネットワーク

2017年9月・10月

SAGENT ADVISORS　Signal Hill

米国において、M&Aアドバイザリー会社2社
（セージェントアドバイザーズ、シグナルヒル）を100%子会社化

*買収後の2017年度第3四半期より収益計上

アジアの経済成長ポテンシャルの取り込み

PASSION FOR THE BEST

- 東南アジア（アセアン地域）における経済成長のポテンシャルは依然として高い
- 現地の投資銀行・証券会社への出資を通じて、経済成長の果実を享受

ベトナムでマーケットシェア第1位の大手証券会社

SSI証券を持分法適用関連会社化

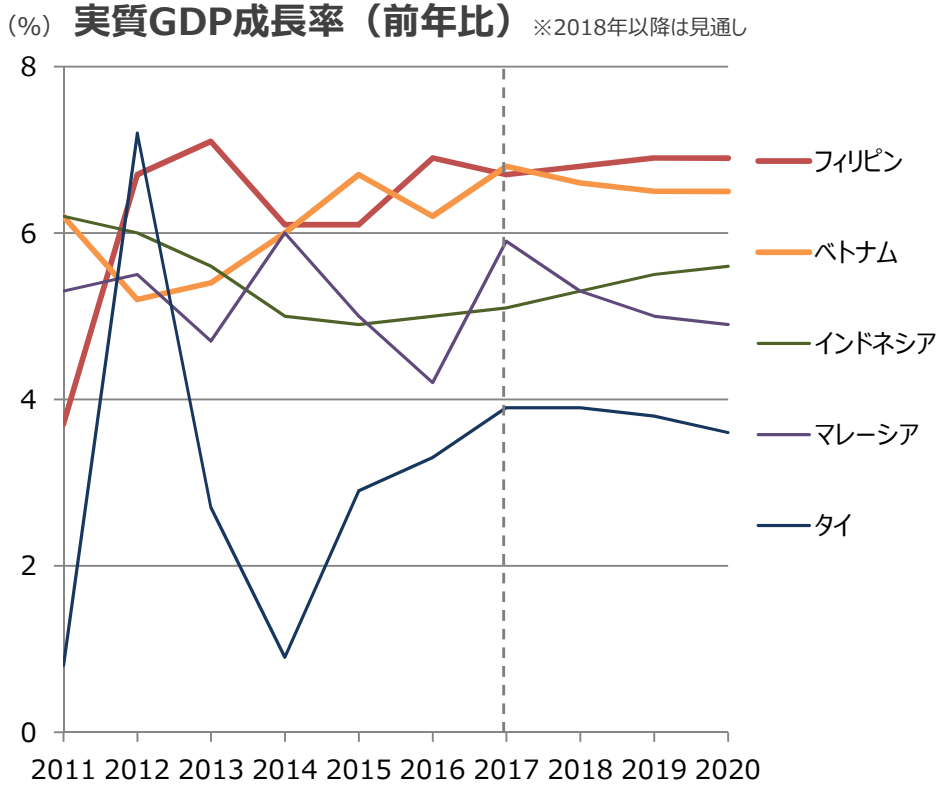
会社名	SSI（旧 Saigon Securities Inc.）
本社所在地	ベトナム、ハノイ
設立	1999年

フィリピンでトップシェアを誇るオンライン証券会社

シー・オー・エル フィナンシャルへの出資

会社名	COL Financial Group, Inc.
本社所在地	フィリピン、マニラ
設立	1999年

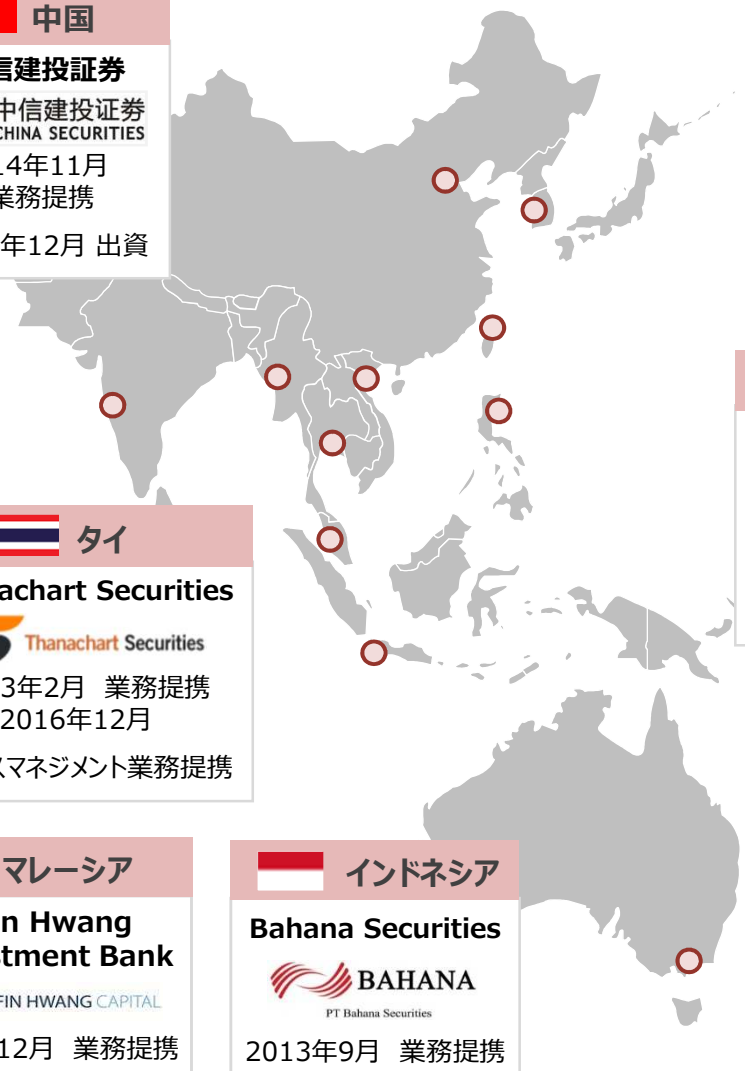
アセアンにおける潜在的な経済成長



（出所）IMF

アジアにおける主な提携・出資先

PASSION FOR THE BEST



台湾

大和國泰證券 (Daiwa-Cathay Capital Markets)

2001年10月
合弁会社設立

中国

中信建投証券

2014年11月
業務提携

2016年12月 出資

フィリピン

Development Bank of Philippines

1995年3月 合弁会社設立
2015年11月 業務提携

COL Financial Group

2017年4月 出資

インド

Ambit Private Limited

2016年12月 業務提携

ベトナム

SSI

2008年6月 資本業務提携

2016年4月 出資比率引き上げ
持分法適用関連会社化

韓国

Mirae Asset Global Investments

投資信託の運用・販売における協働

タイ

Thanachart Securities

2013年2月 業務提携
2016年12月
ウェルスマネジメント業務提携

ミャンマー

Myanmar Securities Exchange Centre (MSEC)

2016年2月 証券免許取得
2016年3月 取引開始

オーストラリア ニュージーランド

Australia and New Zealand Banking Group

2014年2月 業務提携

マレーシア

Affin Hwang Investment Bank

2013年12月 業務提携

インドネシア

Bahana Securities

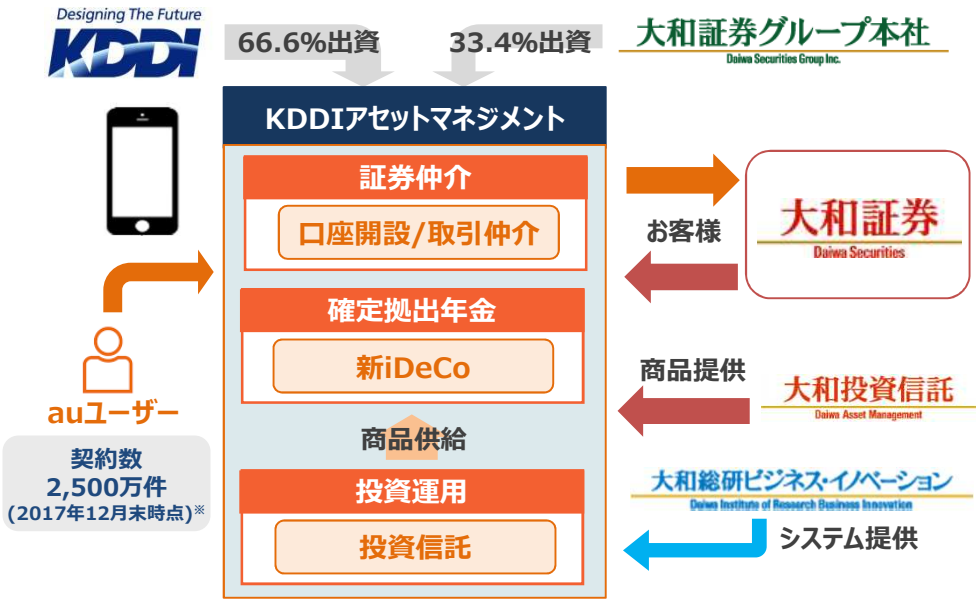
2013年9月 業務提携

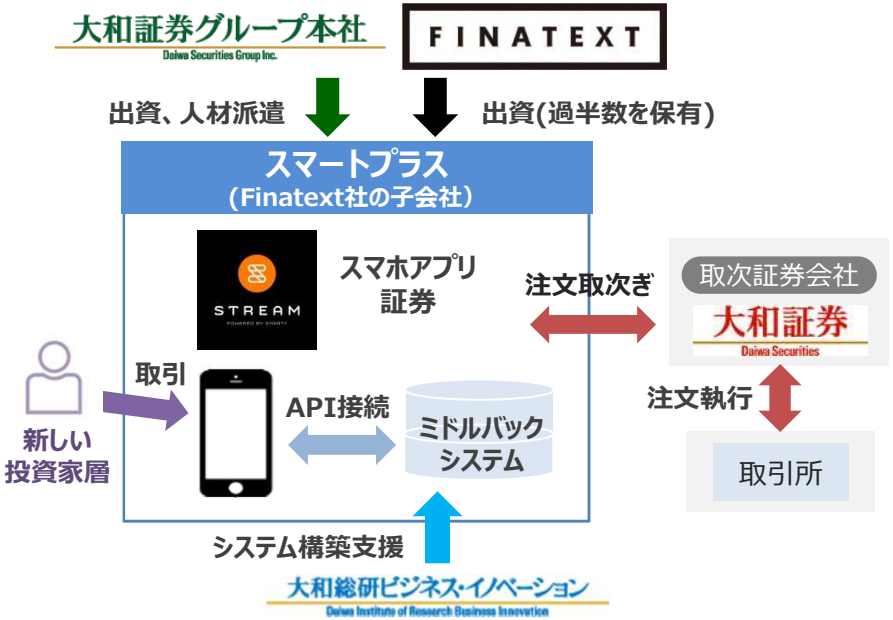
外部企業との連携（次世代層の獲得）

PASSION FOR THE BEST

■ 外部企業との連携により、次世代層を中心とした幅広いお客さまとの接点を拡大し、新たな投資機会や新しい金融サービスを提供

	KDDIとの資本業務提携	Finatext、スマートプラスとの協業
狙い・意義	auユーザーに対する手軽な金融サービスの提供 新たな投資機会の提供による資産形成の普及を後押し	投資家の裾野の広がりを共に創る 新しい金融の価値を幅広いお客さまに提供
ターゲット	主に20～50代のauユーザーを含む投資家層	主に30～50代の新たな投資家層





※出所：KDDI株式会社 2018年3月期 第3四半期決算詳細資料

次世代金融サービスの提供

PASSION FOR THE BEST

■ 金融手法の更なる高度化、外部連携によりデジタル・ネイティブ世代に応える次世代の金融サービスを提供

FinTech ～新会社の設立

次世代金融サービスの創出に向けた新会社を設立

フィンターテック
Fintertech

設立	2018年4月	資本*	8億円 *資本準備金含む
株主	大和証券グループ本社（100%）		

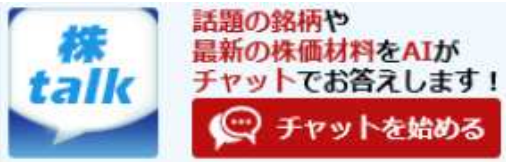
事業領域例　デジタル通貨関連、クラウドファンディング等

Finance × Entertainment × Technology

- 証券・金融ビジネスのノウハウ
- 最先端のテクノロジー
- デジタルチャネル

AI（人工知能） ～マーケット情報の提供

最新ニュース情報に基づいたマーケット情報の提供ツール
「株talk」の導入（2017年12月～）



大和証券の
ホームページ上にて
無料で提供

Amazon Alexa（アマゾン アレクサ）に対応した
「大和証券マーケット情報」の提供（2018年2月～）

アレクサ、ニュースを聞かせて！

大和証券からマーケット情報を
お伝えします。
●月×日の日経平均株価は・・・

再生可能エネルギー事業の拡大

PASSION FOR THE BEST

- **2018年7月、エネルギー・インフラ新会社の設立および太陽光建設ファンドの組成を発表**
- **太陽光を中心とした再生可能エネルギー分野などへの投融資により、SDGs（持続可能な開発目標）に資する事業展開を拡大**

エネルギー・インフラ新会社の概要

名称	**大和エナジー・インフラ株式会社（DEI）**
設立日	2018年7月27日
資本金	10億円（資本金5億円、資本準備金5億円）
株主	株式会社大和キャピタル・ホールディングス(100%)
事業内容	以下に関する開発、投資、融資、運営 ① エネルギー（再生可能エネルギー、バイオプロダクト等） ② インフラ（空港、上下水道、環境リサイクル施設等） ③ 資源（山林・立木等）

太陽光建設ファンドの概要

名称	**ダイワGIグリーンファンド**
ファンド設立日	2018年7月30日
アセットマネージャー	• GIキャピタル・マネジメント株式会社 • 大和リアル・エステート・アセット・マネジメント株式会社
ファンド出資者	株式会社大和証券グループ本社
ファンド出資約束金額	50億円
投資対象	国内の太陽光発電所グリーンフィールドプロジェクト

再生可能エネルギー利用発電所の事例（大和PIパートナーズ）

太陽光発電（三重県多気郡）

バイオマス発電（山形県米澤市）

SDGs 17のゴール

3. 社会への貢献

Daiwa Securities Group Inc.

SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

PASSION FOR THE BEST

Passion for SDGs 2018

～大和証券グループＳＤＧｓ宣言～

大和証券グループは、2015年に国連にて採択された「ＳＤＧｓ（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標））」を、世界を牽引する重要な目標と捉え、当社グループビジネスを通じ、企業の経済的価値の追求と社会的課題の解決を両立することで、豊かな社会と国民生活の実現に積極的に取り組んでまいります。

●共通価値の創造

さまざまなお客様のニーズに対応した幅広いサービスを提供する総合証券グループとして、既成概念にとらわれない柔軟な発想で社会的課題の解決に取り組むことにより、企業としての経済的価値と社会的価値を同時に創造していきます。

●ステークホルダーとのパートナーシップ

国、企業、投資家等を繋げる役割を担う当社グループの特徴を活かし、各ステークホルダーとのパートナーシップを通じて幅広い社会的課題解決への貢献を目指します。

●多様な人材の育成と働き方の実現

ワーク・ライフ・バランスの推進、女性やベテラン層の活躍支援を始め、性別や年齢を問わず全ての社員が働きがいを感じ、能力を最大限発揮できる環境を作ることで、多様な人材の育成及び働き方の実現に取り組んでいきます。

●認知度向上と浸透

金融・資本市場の担い手として、全役職員へＳＤＧｓの理解、浸透を図ると共に、当社グループビジネスを通じてお客様のＳＤＧｓへの認知度向上に貢献していきます。

SDGs（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標））とは

2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するために、17のゴール・169のターゲットを掲げています。途上国だけではなく、日本も含む先進国の在り方を問い、その取組みの過程で“地球上の誰一人として取り残さない（No one will be left behind）”ことを誓っていることが特徴です。

本業を通じて幅広い社会課題解決に貢献

PASSION FOR THE BEST

大和ネクスト銀行 「えらべる預金」

■ **2017年11月より、大和ネクスト銀行が「応援定期預金」を含む「えらべる預金」の取扱いを開始**

「応援定期預金」は支援先別に預金を設定
金利は若干低めで差分を支援金として利用
大和ネクスト銀行が上乗せして支援先にお届け

「平成30年7月豪雨災害復旧応援定期預金」
取扱いを開始（7/17～）

寄付金贈呈式（2018年4月）

国立成育医療研究センター　賀藤病院長（中央）
もみじの家　内多ハウスマネージャー（左）
大和ネクスト銀行　代表取締役社長　中村（右）

「えらべる預金」累計お預入れ
件数：1.3万件超
金額：156億円

「応援定期預金」寄付総額
約118万円

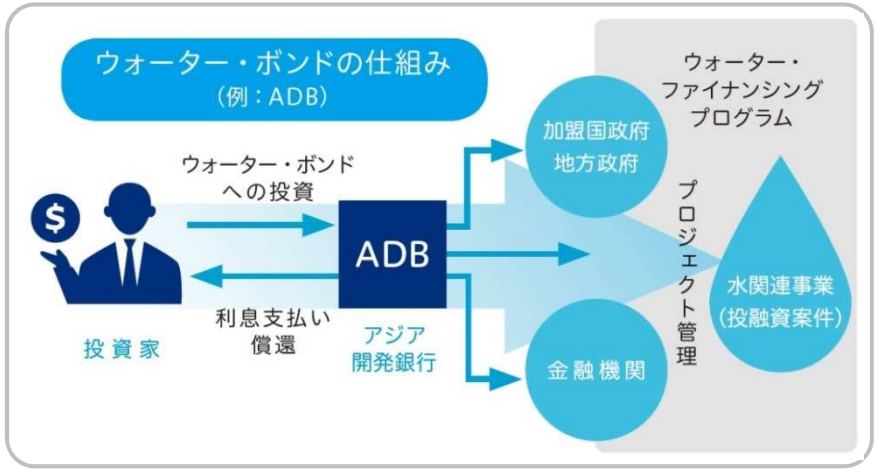
（2018年7月末時点）

インパクト・インベストメント

■ **個人向けインパクト・インベストメント債券の国内市場における大和証券シェア：52%**

（大和証券調べ　2008年3月～2018年3月末現在）

事例：ウォーター・ボンド（アジア開発銀行の場合）



その他の債券例

■ **グリーンボンド**
・・・環境に配慮した対応を行なう企業等をサポート

■ **インクルーシブ・ビジネス・ボンド**
・・・BOP層*の人々の生活向上に役立つビジネスを支援
*経済ピラミッドの下層部（Base of the Economic Pyramid）

企業市民としての取組み

25周年目を迎える大和証券福祉財団

【2017年度までの助成実績（累計）】

	ボランティア活動助成	東日本大震災 ボランティア活動助成
助成件数	3,351件	247件
助成総額	7億7,545万円	1億173万円

- ✓ 1994年3月、大和証券の設立50周年記念事業として、企業利益の一部を社会に還元する目的で「公益財団法人 大和証券福祉財団」を設立
- ✓ 高齢者・児童等への支援活動等の社会的意義の高いボランティア活動を行っている団体・グループに対して毎年助成を実施

子どもの貧困問題への取組み

■ **「大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金」の創設**

（公益財団法人パブリックリソース財団）2017年9月～

・・・5年間で当社グループから総額1億円程度の寄付を想定

こども応援基金授与式の様子（2018年1月）

【支援先】
SOS子どもの村JAPAN
PIECES
Learning for All

金融・経済の学習機会の提供

■ **各種ウェブサイトの運営**

＜10代の方向け＞ edu.daiwa.jp

＜子育て世代の方向け＞
www.daiwa.jp/sodatte

■ **金融教育テキストの作成・「おしごと年鑑」への協賛**

すべての社員が「働きがい」を感じられる企業を目指して

PASSION FOR THE BEST

2017年以降、新たに実施した人事施策の例

- **若手社員の活躍支援：**「奨学金返済サポート制度」の導入（2018年8月～）
- **女性活躍支援：**「ワーク・ライフ・バランス委員会」の発足
- **ベテラン層の活躍支援：**営業職の再雇用年齢の上限を撤廃
- **仕事と介護の両立支援：**介護休職制度の拡充、「介護コンシェルジュ」の導入、在宅勤務制度の導入など
- **仕事とがん治療の両立支援：**「ガンばるサポート　～がん就労支援プラン～」の導入

ワーク・ライフ・バランス（WLB）の推進

「家族の職場訪問」
社長との名刺交換

日比野会長、中田社長を
共同委員長とする
「ワーク・ライフ・バランス委員会」を発足

健康経営の推進

「健康経営推進会議」の開催

KA・RA・DA いきいきプロジェクト Healthy Lifestyle

社員の健康づくりを促進

4. 株主還元

Daiwa Securities Group Inc.

株主還元の位置づけ

PASSION FOR THE BEST

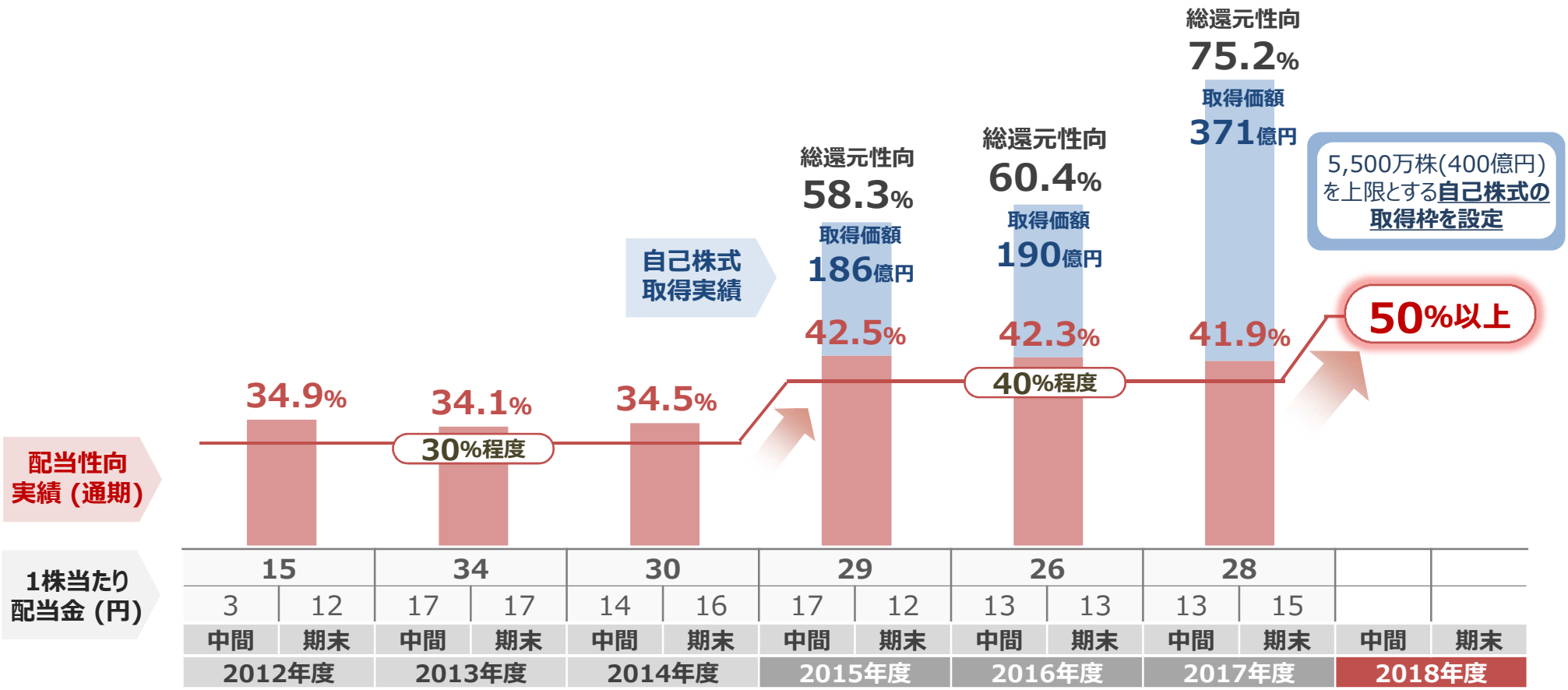
- 「成長投資の実行」、「資本効率性の向上」、「財務健全性の堅持」、「株主還元の強化」のバランスを図ることで、健全な利益の確保を通じた持続的成長を実現

株主還元の更なる拡充（配当政策の変更）

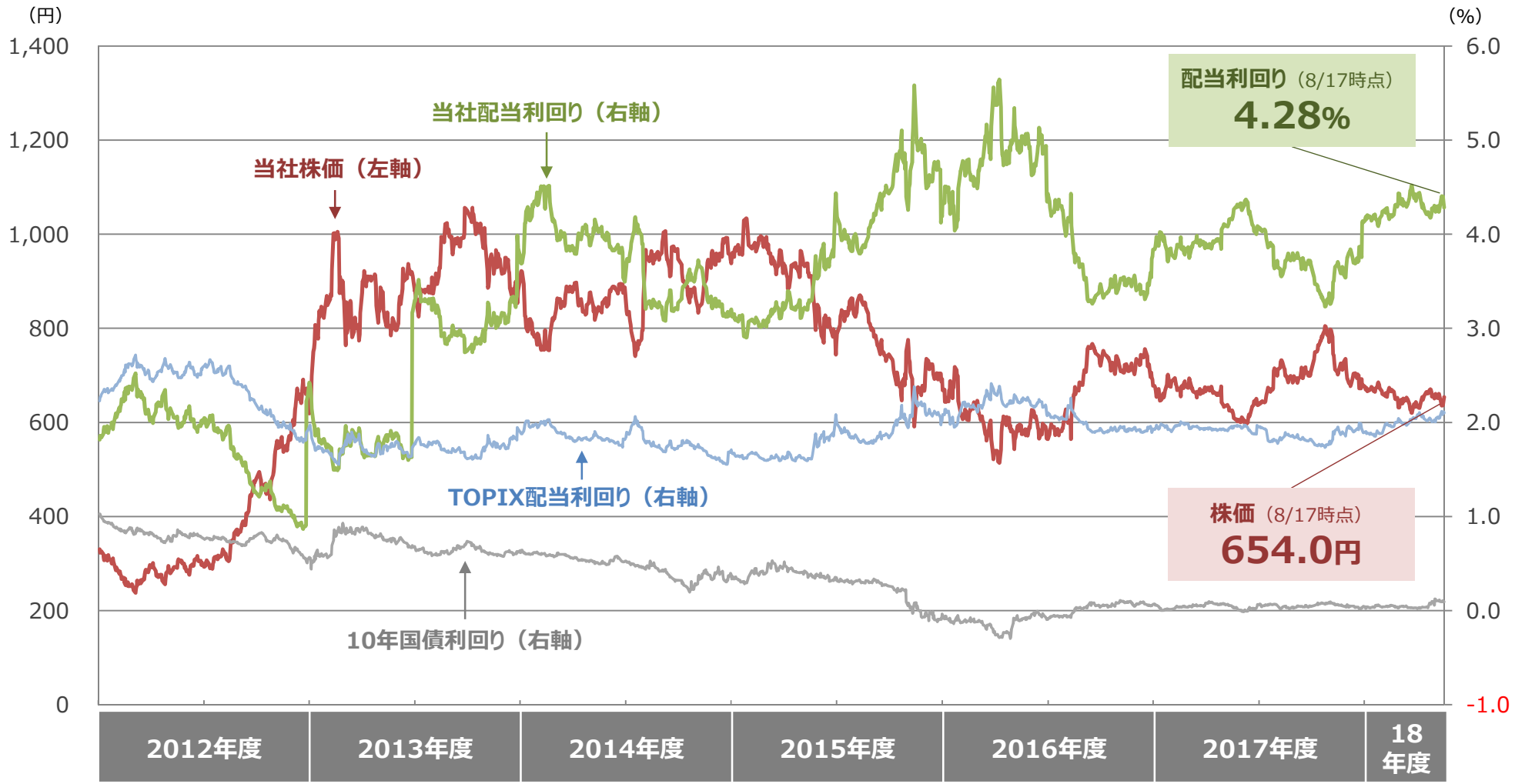
PASSION FOR THE BEST

2017年度の株主還元　実績

配当	28円（中間配当13円、期末配当15円）、配当性向41.9%
自己株式の取得	取得株式総数：5,200万株、取得価額総額：約371億円



株価と配当利回り



（出所）Bloomberg

株主優待制度の充実

PASSION FOR THE BEST

■ **株主優待品カタログから、お好きな優待品をお選びいただける株主優待を年2回実施**

3月末と9月末の株主さまを対象に株主優待を実施（年2回）

保有株式数	選べる優待品	株主優待品カタログ（50品掲載）
1,000～2,999株	1点	2,000円相当
3,000～4,999株	2点	4,000円相当
5,000～9,999株	1点	5,000円相当
10,000株以上	2点	1万円相当

掲載優待品一例（2018年3月末優待）

宮崎県産黒豚と黒毛和牛合挽きハンバーグ

錦松梅

とらや　小型羊羹

蔵王牛　すき焼き

かねふく　からし明太子

銀座 レ ロジェ エギュスキロールアイス

※株主優待品は毎回変わります。また、株主優待制度の内容は毎回変わる可能性がございます

参考資料

Daiwa Securities Group Inc.

株主・投資家の皆さまへの情報発信

IRウェブサイト

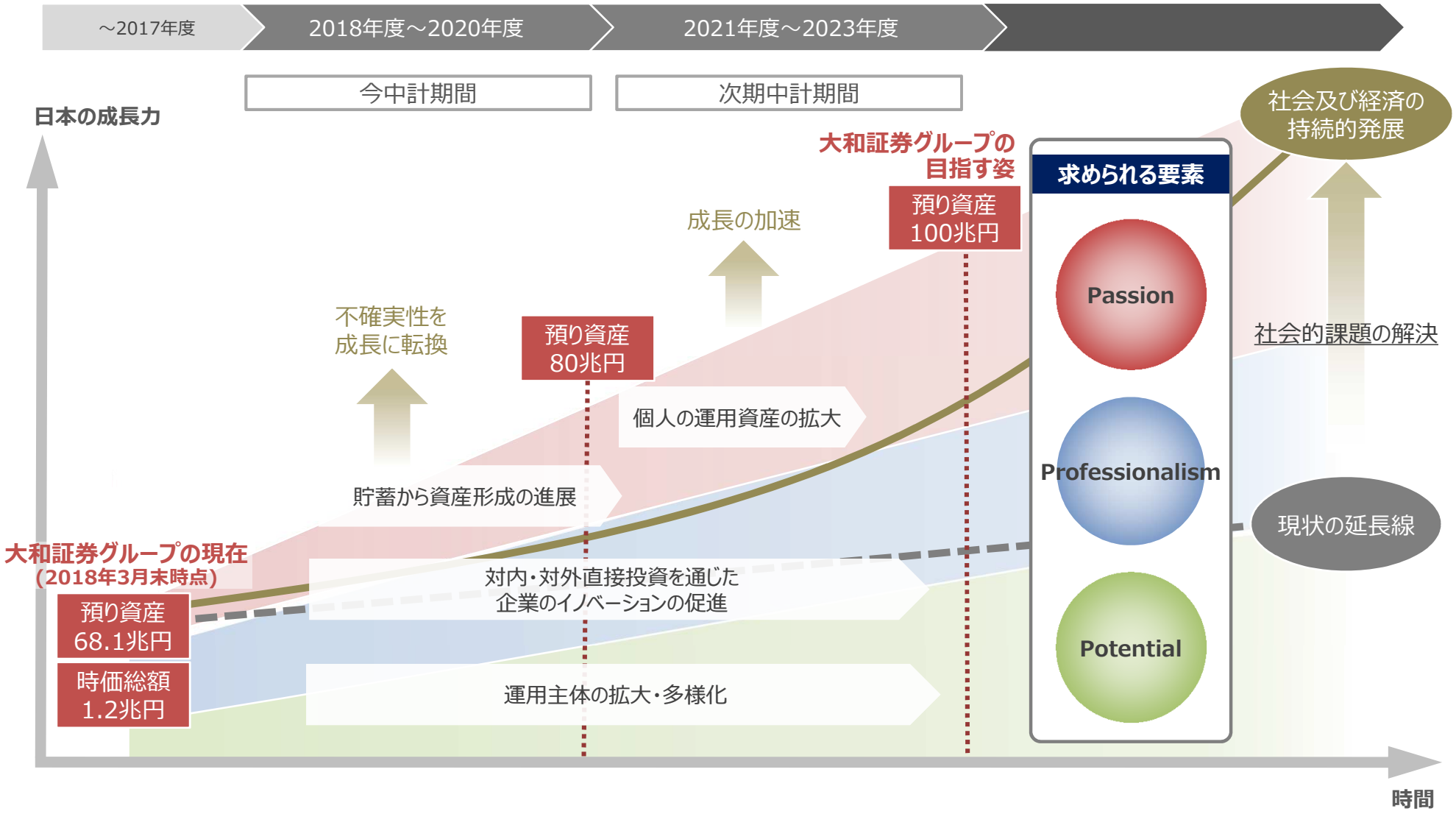
【URL】 http://www.daiwa-grp.jp/

刊行物

アニュアルレポート（統合報告書）

ビジネスレポート（株主さま向け）

大和証券グループが目指す未来のイメージ



中期経営計画（2018年度～2020年度）の骨子

PASSION FOR THE BEST

“Passion for the Best” 2020

未来を創る、金融・資本市場のパイオニア

“Passion for the Best” 2017 → 2018年度 → 2019年度 → 2020年度

基本方針

1. クオリティNo.1のコンサルティング力による「付加価値」の高いソリューションの提供
2. ハイブリッド型総合証券グループとして「新たな価値」の提供

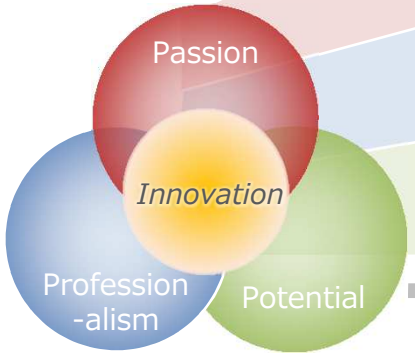
進捗のイメージ

- 営業体制、プロダクト・サービスの整備
- 「お客様第一の業務運営」の実現と進化
- お客様満足度の飛躍的向上
- デジタル・トランスフォーメーション
- 伝統的ビジネス強化、グループ内リソースのフル活用
- 外部ネットワーク、周辺ビジネスの拡大・強化
- プロダクト・サービスの高度化

お客様資産の拡大

日本経済を牽引する企業の成長

資産規模・企業価値



グループ数値目標

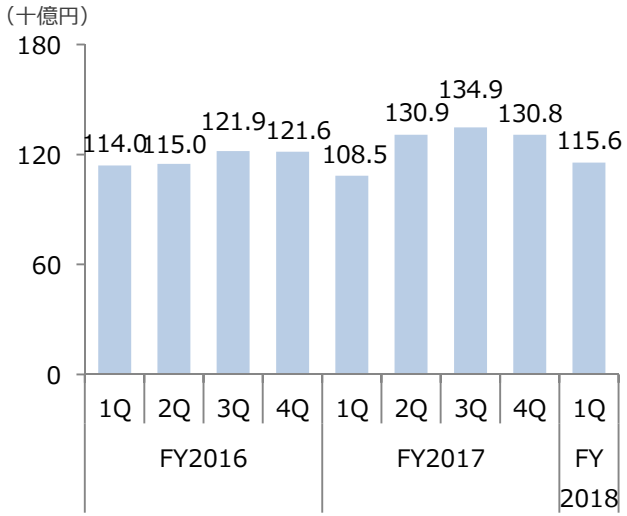
- お客様本位KPI
- 業績KPI
- 財務KPI

時間

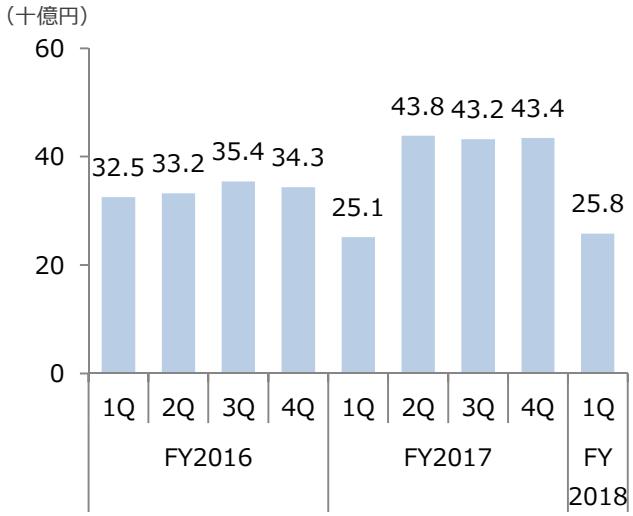
決算の概要（2018年度第1四半期）

（百万円）	純営業収益			経常利益			親会社株主に帰属する純利益		
	2017年度 第4四半期	2018年度 第1四半期	増減率	2017年度 第4四半期	2018年度 第1四半期	増減率	2017年度 第4四半期	2018年度 第1四半期	増減率
リテール部門	54,573	**50,609**	-7.3%	12,312	**9,894**	-19.6%			
ホールセール部門	47,135	**39,798**	-15.6%	13,252	**6,996**	-47.2%			
グローバル・マーケッツ	*33,616*	***28,078***	*-16.5%*	*11,228*	***5,849***	*-47.9%*			
グローバル・インベストメント・バンキング	*13,518*	***11,719***	*-13.3%*	*1,760*	***823***	*-53.2%*			
アセット・マネジメント部門	12,587	**12,268**	-2.5%	7,292	**7,488**	2.7%			
投資部門	5,359	**2,435**	-54.6%	4,377	**1,760**	-59.8%			
連結　計	**130,886**	**115,606**	**-11.7%**	**43,477**	**25,860**	**-40.5%**	**36,581**	**18,534**	**-49.3%**

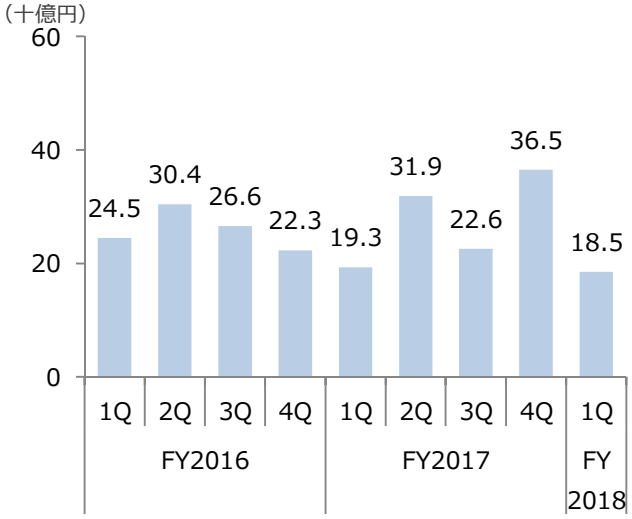
純営業収益



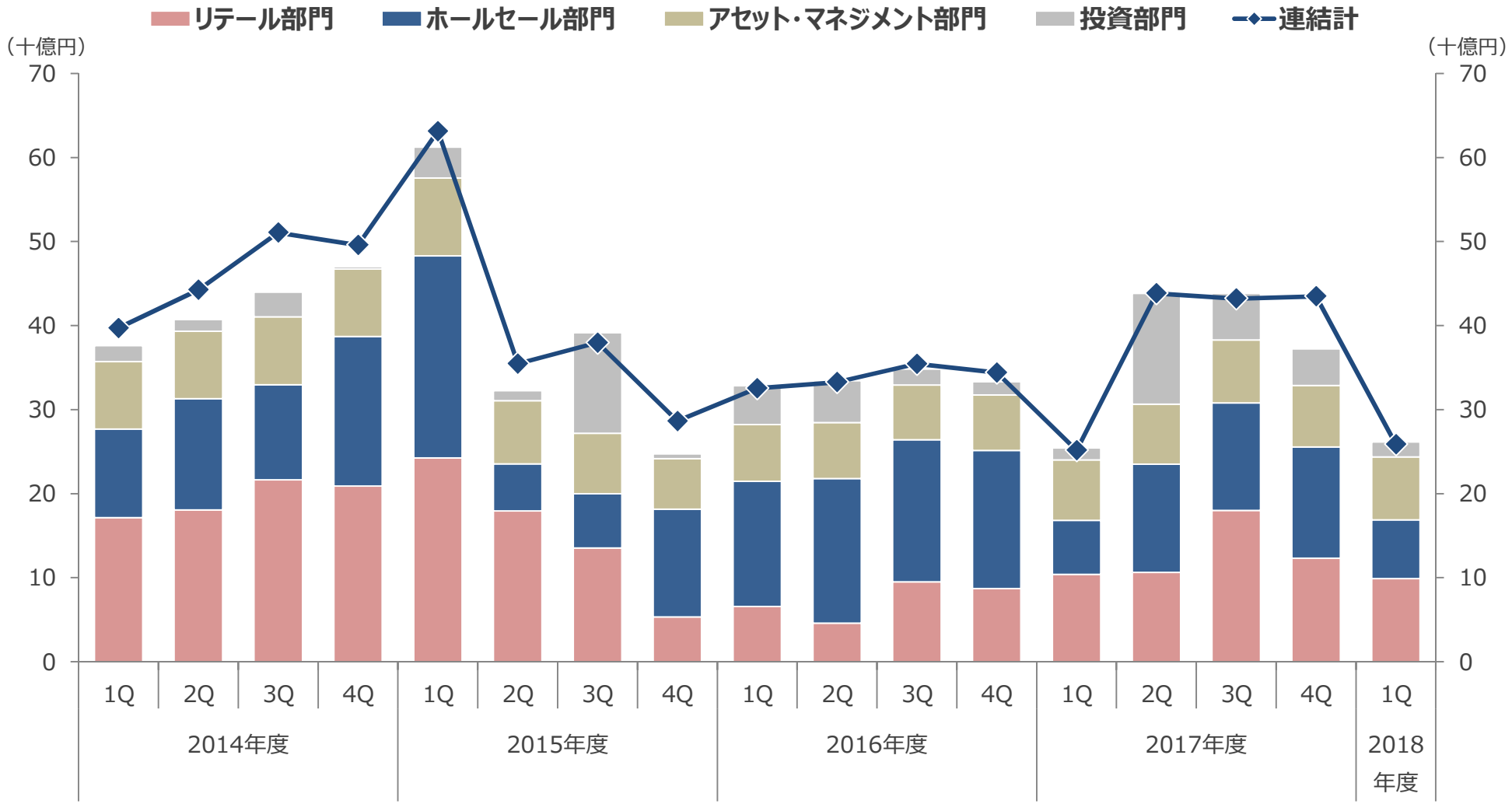
経常利益



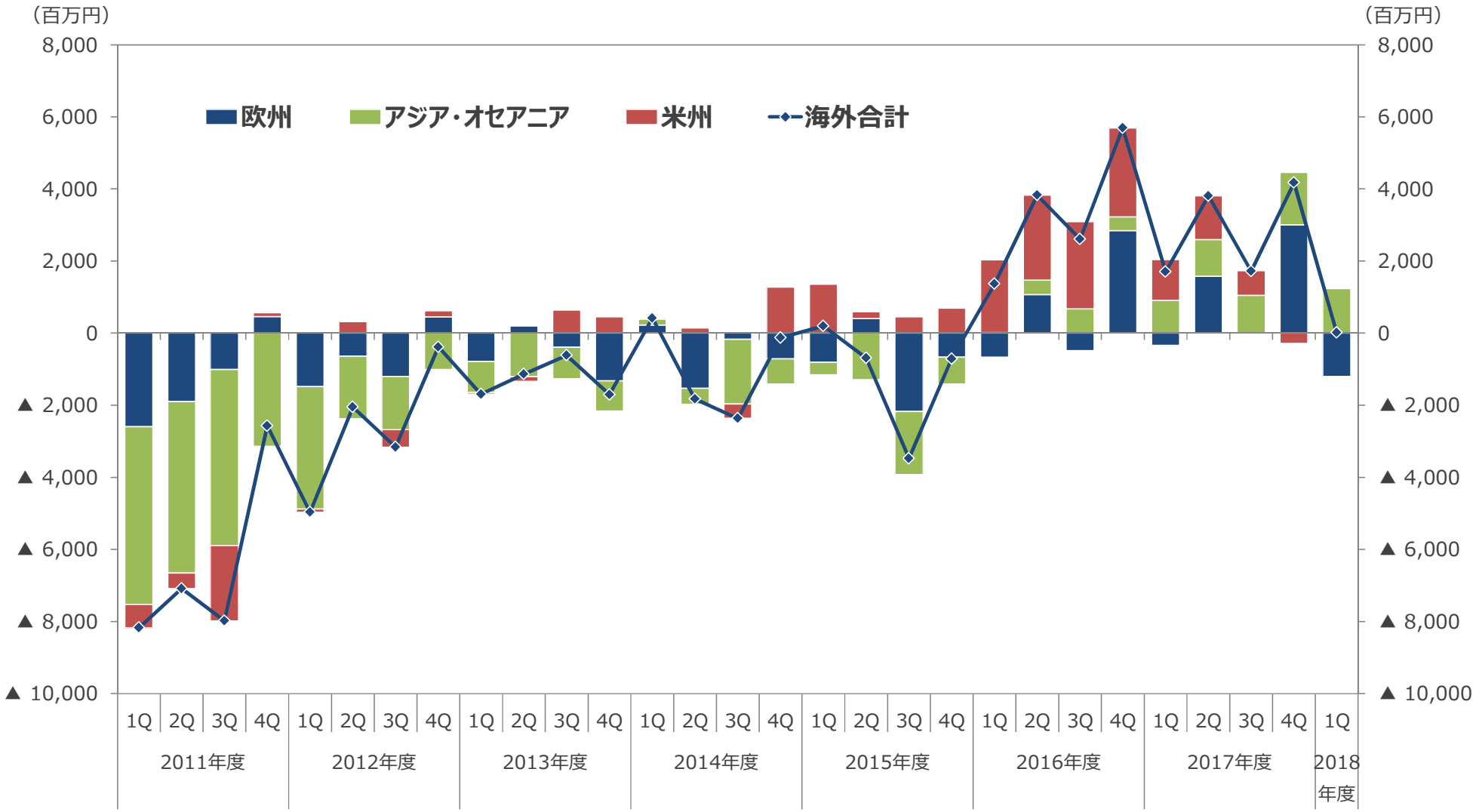
親会社株主に帰属する純利益



部門別経常利益の推移


リテール部門
ホールセール部門
アセット・マネジメント部門
投資部門
連結計
（十億円）
（十億円）
70
60
50
40
30
20
10
0
1Q
2Q
3Q
4Q
2014年度
2015年度
2016年度
2017年度
2018年度

海外部門別経常収支の推移



外部からの評価

指数への組入れ

FTSE
Blossom Japan Index

FTSE Blossom Japan

MSCI
日本株女性活躍指数(WIN)

Bloomberg
金融サービス企業男女平等指数

2年連続で選定

GRESB Survey
GRESB 2017 “Green Star”

6年連続で獲得（大和証券オフィス投資法人）

FTSE
グッド・インデックス

12期連続で採用

米国ダウジョーンズ社・RobecoSAM
DJSI World / Asia Pacific

7年連続で採用

外部機関からの表彰等

なでしこ銘柄
（女性活躍推進に優れた企業）

4年連続で選定

経済産業省・東京証券取引所

健康経営銘柄/健康経営優良法人

4年連続で選定/2年連続で選定

経済産業省・東京証券取引所

子育てサポート認定事業主マーク

厚生労働省

「仕事と介護を両立できる職場環境」
整備促進の為のシンボルマーク

厚生労働省

2018年「女性が活躍する会社
BEST 100」

「女性活躍推進度」
部門：3位

日経WOMAN
日経ウーマノミクス・プロジェクト

経営戦略としてのSDGs

PASSION FOR THE BEST

共通価値（Shared Value）創造のサイクル

大和証券グループのステークホルダー

お客様 | 株主・債権者 | 社員 | 地域・社会

経済的価値の創出

「社会的課題の解決」に取り組み

「新たなお客様ニーズ」を開拓

社会的価値の創出

豊かな社会・国民生活の実現に貢献する大和証券グループ

SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

持続可能な社会を創る事業の推進

大和証券グループのアプローチ

- 金融
- テクノロジー
- 地方
- ⋮

×

SDGs推進委員会の設置

【委員長】 CEO中田　誠司
【社外委員】
　蟹江　憲史（かにえ　のりちか）氏
　薗田　綾子（そのだ　あやこ）氏
　森澤　充世（もりさわ　みちよ）氏

- SDGsに関する最先端の情報収集
- グループ横断的な対応の検討
- SDGs推進室を新設

全社員への浸透

- ワークショップ開催
- 社内コミュニケーションツールの活用
- SDGsの取り組みに関する社内公募

PASSION FOR THE BEST

大和証券グループ本社　IR室
TEL: 03-5555-1300　FAX: 03-5555-0661
E-mail: ir-section@daiwa.co.jp
URL: http://www.daiwa-grp.jp/ir/